



Walden Pond Times

OCTOBER 2013 Vol.20

DLD Report ~ 日本一高い場所にある薪ストーブ ~

秋になり、行楽シーズンがやってきました。最近では富士山の世界遺産登録が実現したこともあり、ますます登山人口が増えているようです。DLD本社のある長野県高遠町も、南アルプスのある麓に、壮麗な山々を眺めることができます。南アルプスには「日本百名山」に数えられる山がいくつもありますが、その中でも「南アルプスの女王」と評される仙丈ヶ岳は、標高は3,033mですが、比較的なだらかで登りやすく人気があります。その仙丈ヶ岳の山頂直下、麓下カールにある仙丈小屋は、多くの登山客の疲れを癒しています。



上：部材と二連はしこを運ぶヘリ。大迫力！！

今回お届けするレポートは、その仙丈小屋に薪ストーブを設置したときのエピソードです。二泊三日の工事工程にスタッフとして行くことになったのは、トレイルランニングのランナー飯島、DLDきつかけの山好き伊藤、そして山より海が好きでサーフアリースの3名です。さて工事当日の10月6日。朝4時、DLD本社に集合し、4トラックにストーブと煙突、部材を積み込み、中継地の歌宿に向けて出発。6時、歌宿に到着、トラックから荷物を降ろします。ここから山頂までどうやって荷物を運んでいくのか？DLDの屈強なスタッフのこと、もちろん担いでいえないえそれはさすがに無理！なんと、スタッフも含めヘリコプターで山頂へ運ぶのです。皆ヘリコプターに乗れるという期待でワクワクし、前日は長く眠れなかったとか。

しかし、当日までの荷造りには相当苦労しました。というのは、必要最小限の荷物にするのはもちろん、ヘリコプターで一回に運べる重量は決まっているので、それぞれの部材の重さを量り、組み合わせを考えて、荷上げの回数も極力少なくすることが重要です。他のスタッフの協力も得ながら、工事の二週間ほど前から、日々の工事現場から戻った夕方、部材の重さを量っては他の部材と組み合わせ、という作業を繰り返して、ようやく前日にすべての部材の荷造りが終わりました。さて、当日、苦労して積み込んだ部材を市役所の係の方たちの協力を得てトラックから降ろし、いよいよヘリコプターで山頂へ。まずは、スタッフ3人が搭乗します。人生初のヘリコプターに皆大興奮。足元の景色も見え、大騒ぎするもつかの間、徒歩なら4分でも山頂に到着しました。ここで、もしもヘリコプターに乗ることがあった時に役立つ豆知識をご紹介します。乗り降りの時、決して機体に向けてはいけません。それはもし機体に何か起こった時、パイロットからの指示を見逃さないようにするためです。さてスタッフを降ろして再び飛び立ったヘリコプターは、次々と歌宿から荷物を運び、朝八時にはすべて部材が揃い、工事が始められることになりました。工事となればお手の物。3階建て山荘の2階に設置する予定の薪ストーブのため、床の補強と天井の貫通工事、屋根上の煙突設置工事までその日のうちに完了しました。

翌日、薪ストーブクラシック4の設置工事が無事終了。早速、ストーブに火を入れると、一〇月といえどかなりの寒さだった部屋はじんわりと暖かくなりました。翌朝市役所の係の方とDLD営業の塩谷が朝8時過ぎに検査のため到着。実はその前に、ランナーの血が騒いだ飯島は、麓の長衛荘までひとっ走り(?)行ってきたと言っただけから驚きです。6時に出発して約2時間(通常は往復6時間かかります!)で戻って来ましたが、ちよっと検査には遅れた様子。そんなこんなで、無事検査を受けてから、スタッフ3人は帰路の途に。帰りは徒歩です。無事大工事が済んだ安堵の気持ちと達成感で、足取りも軽やか(?)でした。3日間にわたった山頂での工事、3人にとってもDLDにとっても、非常に貴重な体験となりました。このストーブが、登山客の皆様を少し癒してあげてくれることを願います。もしこれから仙丈ヶ岳に登山を予定されている方がいましたら、仙丈小屋を訪れて、日本一高い場所にある薪ストーブを是非ご体感ください！

山頂から眺める仙丈小屋。付いたばかりの煙突が。小屋の周りには風力、ソーラー発電が設備されている。

仙丈小屋のホームページはこちら！ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~senzyou-koya/> Facebook もあります。

ウリボーとまき先生の 環境教室

～バイオマス発電所ができるって？～



イノシシ小学校の担任。環境や薪のことに詳しい。ウリボーの尊敬するやさしい先生。



イノシシ小学校3年生。環境、自然に興味あり。趣味は無駄な電気を消して回る。ウリボー

ウリボー：家の近くに発電所ができるようになったよ。
まき先生：へー。どんな発電所なのかな。山の中にできるんだよね。
ウリボー：バイオマス発電所って言ってたよ。どんな発電所なのかな？
まき先生：木を燃やして、そのエネルギーで発電するんだよ。森の発電所ってことなんだ。
ウリボー：森のエネルギーで電気ができるって、素晴らしいことだよな。
まき先生：そうだね。日本は電気が不足気味だし、森の自然のエネルギーを使って発電することは良いことだよな。長野県の塩尻ってところに大きなバイオマス発電所が計画されているし、全国各地で計画が進んでいるんだ。
ウリボー：でも、木を燃やして電気を作るんだよ、山の木がなくなっちゃうと困るよ。
まき先生：良い所に気が付いたね。電気を作るのは良いことだけど、同時に森を守っていくバランスが大切なんだよ。特にバイオマス発電所は大規模なものが計画されているから、木の伐り過ぎには注意しないとね。
ウリボー：それと、木をみんな燃やしちゃうたら、家を建てたり家具を作ったりする木がなくなっちゃうんじゃないの？

まき先生：ただ燃やすだけじゃなくて、家を建てる材料を作る工場と一緒に作る場合が多いから、心配ないんだよ。良い木は家を建てる材料にして、その切れ端や家の材料や家具に使えない木を燃やして電気にする、できるだけ木を活用しなくちゃね。
ウリボー：バイオマス発電所って、素晴らしいんだね。完成が楽しみだな。
まき先生：ただ、課題も多いんだよ。バイオマス発電は、燃やした木のエネルギーを全部電気にすることはできないんだ。残りの半分以上のエネルギーは熱になるので、発電すると同時にお湯をいっぱい沸かすことになるんだ。
ウリボー：じゃあ、カップラーメンがいっぱい食べられるね。
まき先生：カップラーメンじゃ、使いきれないよ。発電所で沸かすお湯はあまりにも多いので、農業とか、食品加工とか、膨大な熱やお湯を有効に使う工夫も必要なんだ。
ウリボー：そうか、せっかく育てた木だから、そのエネルギーを大切に使いたいよね。
まき先生：そうだね。発電所が完成したら、皆で見学に行きましょう！

Information

①ストーブ祭、今年も開催！！ ②DLDホームページリニューアル！！

DLD伊那、長野、郡山、仙台木ごこち盛岡で開催！！詳しくは同封のチラシをご覧ください！！



DLDホームページがリニューアル！より見やすく充実したページになりました。薪ストーブの魅力をお伝えします。ぜひご覧ください！
www.dld.co.jp

③新商品 続々登場！！

出張レポートでお伝えした、カナダSBI社の新ファーンレスをはじめ、HWAM、Wikingのストーブメーカーから新商品が登場！詳しくはwebをご覧ください！！



THE BEST PRODUCTS WITH THE BEST SERVICE.
株式会社ディーエルディー □伊那 □東京 □名古屋 □仙台 □郡山 □長野 □八ヶ岳 www.dld.co.jp
株式会社木ごこち □盛岡 □宮古 □一関 www.green-s-kigokochi.com/

Dealer Report <Connect> コネクト 香川県丸亀市



香川県丸亀市にある北欧インテリアショップ「CONNECT」(コネクト)。

丸亀の町・丸亀で、人と人の繋がりを手伝える贈答品店を先代から引き継ぎ、CONNECTをオープンしたのが8年前。永く大切に使える商品を厳選した北欧のインテリアと雑貨のお店は、お客様に穏やかに心地よい、あたたかな暮らしを提案するという高木社長の想いのひとつの形でした。

そんな中、同じ北欧デンマークHWAMのストーブのコンセプト「家具としてデザイン」にご共感いただき、HWAMを含めた新ストーブの取扱いを始められたのがちょうど1年前。

〒761-2407
香川県丸亀市綾歌町富熊 440-1
TEL:0877-86-1244
http://www.connecc-d.com/

「実は、煙突掃除をしたかったんです。」

薪ストーブの取り扱いを開始するにあたって、高木社長がおっしゃった言葉。「だって、煙突掃除の時って、お客様に会えるじゃないですか!」

たしかに、普通の商品では購入後にお客様が使用している様子を見て頂く、ご要望やご意見を頂けるチャンスというのは、そんなにあるものではないかもしれません。薪ストーブの場合は、メンテナンスという形でお客様の薪ストーブライフと一生お付き合いするのようになります。この点が高木社長の心を惹き付けたようです。お店のコンセプト、「暮らしの提案」というからには、お客様との未来におつきあいが必要というわけです。

それは、人生の節目や時節折々の贈答品のやりとりを通じて、お客様と人生を永くおつきあいてきた先代の想いが受け継がれているようにも感じます。

そうした高木社長の想いは、北欧の薪ストーブとインテリアが融合した新店舗「CONNECT ID」のオープンという形で、実現に近づきました。薪ストーブデザイナーとしてCONNECTは生まれたばかり。新店舗ショールームを拠点に、さらに活動を広げていく予定です。

香川県に行かれることがありましたら、是非お店をのぞいて見て下さい。

オーナー探訪 ~Kampo & Organic Asuha 山梨県北杜市大泉町 渡邊様



八月二三日、北杜市大泉町にオープンしたばかりの漢方・自然食品カフェ、あすはを訪ねて来ました。富士山や八ヶ岳、南アルプスを四方に見渡すことのできる、素敵な佇まいのお店です。

国際中医師、国際薬膳師の資格を持つ奥様が、初めて漢方に興味を持たれたきっかけは、約二〇年前東京にお住まいの頃、ご主人が悪性リンパ腫を発病されたこと。それをきっかけに、漢方医の先生の著書を読み、食生活で改善できることはしたい、と勉強を始めたそうです。

最近では総合病院にも、「漢方外来」ができるなど、身近になって来ましたが、渡邊さんは、漢方・東洋医学・民間療法のもととなる中医学(中国の伝統医学)をきちんと勉強したいと考え、遼寧中医学大学に入学。さらに、より身近な食事について、東城百合子先生の「あなたと健康社」専科に通い、自然食と自然療法も学ばれました。

ご主人は病院で移植手術を薦められるほど悪化してしまい、手術しても完治するかわからないと言われていたにも関わらず、奥様の食事療法により、手術を受けることなく今もお元気にお過ごしです。

もちろん医師にしかできないこともありますが、渡邊さんは自分でできることがあればできるだけ実践してほしい、その思いで、山梨県に移住し、「漢方的健康づくりを提案するお店」として、漢方薬店と、体に良い自然食のカフェを開店されました。健康な人はより健康に、体調に不安がある人は食べた物や漢方で未病を改善し、また病後のケアにもぜひ漢方や食事療法を実践



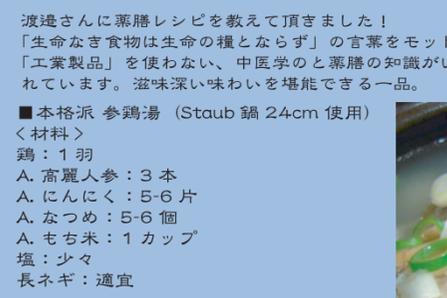
上: ドアを入って右側が漢方薬局、左側がカフェスペース。
漢方薬や自然食品が並ぶ商品棚。

「生命なき食物は生命の糧とならず」の言葉をモットーに、化学調味料や加工品など「工業製品」を使わない、中医学と薬膳の知識がいっぱい詰まったレシピを提供されています。滋味深い味わいを堪能できる一品。

■本格派 参鶏湯 (Staub 鍋 24cm 使用)
材料:
鶏: 1羽
A. 高麗人参: 3本
A. にんにく: 5-6片
A. なつめ: 5-6個
A. もち米: 1カップ
塩: シュウ
長ネギ: 適宜

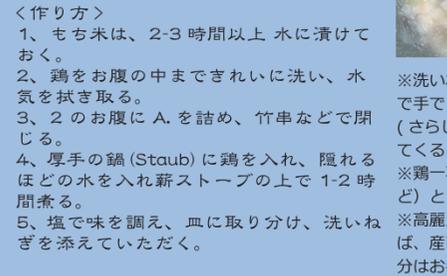
作り方:
1. もち米は、2-3時間以上 水に漬けておく。
2. 鶏をお腹の中まできれいに洗い、水気を拭き取る。
3. 2のお腹に A. を詰め、竹串などで閉じる。
4. 厚手の鍋 (Staub) に鶏を入れ、隠れるほどの水を入れ薪ストーブの上で 1-2時間煮る。
5. 塩で味を調え、皿に取り分け、洗いねぎを添えていただく。

※洗いねぎは、長ネギを小口切りし、ため水の中で手でしっかりもみ洗いし、よく絞る。(さらしを使い もみ洗いをすると高級料理屋で出てくるような洗いねぎになります)
※鶏一羽が大変な場合は、骨付きの鶏肉(手羽など)とAの材料を煮込んでも美味しくできます。
※高麗人参は長野県では10月が旬。運がよければ、産直市場などに出ることがあります。根の部分はお手頃価格なので、買っておくと便利です。



「漢方・自然食品・カフェ Kampo & Organic Asuha」

〒409-1502
山梨県北杜市大泉町谷戸 3915
TEL 0551-45-7439
定休日: 水木
10:00~18:00
http://kamocafe.web.fc2.com/
漢方相談はお電話にてご予約下さい。



「漢方・自然食品・カフェ Kampo & Organic Asuha」

〒409-1502
山梨県北杜市大泉町谷戸 3915
TEL 0551-45-7439
定休日: 水木
10:00~18:00
http://kamocafe.web.fc2.com/
漢方相談はお電話にてご予約下さい。

出張レポート



社長三ツ井& バイオエネルギー事業部長木平

今回の出張レポートは、カナダ東部、セントローレンス川の下流に位置するケベック州の州都、ケベックシティにある北米第3位の販売数を誇るストーブメーカー「SBI」社の訪問レポートです。

私達は、今回新しくSBI社の製造している薪ストーブを日本市場で販売する事になり、ケベックシティにある本社を訪ね、研修をしてきました。

薪ストーブとは、薪を燃料とした大型温風機です。北米ではセントラルヒーティングが一般的な暖房ですが、その熱源は電気を動力とするものが主流です。しかしSBI社は薪を燃料とした薪ストーブを製造している数少ないメーカーの一つです。

DUCのバイオエネルギー事業部は主に間伐材を利用して薪を生産していますが、薪は化石燃料に代わる環境に優しい燃料としてとても有効なものです。



日本ではセントラルヒーティングはあまりなじみがありません。日本の住宅の暖房機としてはやはり薪ストーブが最適だと考えています。しかしビニールハウス等の農業施設、倉庫や工場などの大きな施設を短時間で暖めるといふ点では、この温風を使った薪ストーブが有効です。今まで灯油などの化石燃料を使ったような施設の暖房が、地元で入手できる、薪に変われば、環境にとって大きなプラスになるでしょう。

SBI社の薪ストーブは、10月から販売を開始致します。ご興味のある方は、バイオエネルギー事業部長木平までお問い合わせください。

SBI工場にて、海外営業部長ドミニックの説明を聞く木平とステイブ



北米唯一の城塞都市、世界遺産の街ケベックシティ

ケベックシティは街の中心を城壁が囲む北米唯一の城塞都市です。その歴史は、1608年フランス人探検家サミュエルがこの地に砦を築いた事に始まります。1759年にイギリスがフランスとの戦争に勝利するまで、フランスの統治下として街が発展してきました。その後イギリス統治が続いたのですが、フランス系の住民が人口の9割を占めていたため、その言語や風習、文化などフランス式のものが多い街として独立した現在まで続いています。

カナダとしての独立は1931年ですが、現在でも道路標識や、飛行場の案内などほとんどの場面で英語/フランス語併記が義務づけられています。ケベックシティの街は城壁に囲まれた旧市街と城壁の外側に広がる新市街に分かれています。私達は城壁のすぐ西側、デューヴィル公園の近くのホテルに滞在し、この世界遺産の街を堪能しました。旧市街の建物はほとんどが1600年代から1700年代に建てられたものです。街を歩いているとヨーロッパの中世の街に似ているような錯覚に陥ってしまいます。

おすすめ散歩コース

① 城壁の上を歩いてシタデル(カナダで最大の要塞)へ

城壁の幅は広く、その上部を歩く事ができます。また、街のどこどころから城壁に登る事ができます。ホテルのすぐ近くデューヴィル公園から城壁に登り、街の南端にある城塞シタデルへ向かいました。

城壁は高いところで10メートルほど。西側の旧市街と東側の新市街を見渡しながら歩く事ができます(写真1)。その南端に位置するシタデルは、1857年に英国軍によって築かれた北米最大の要塞です。現在でも現役のこの要塞では英国風の制服を着た衛兵の交代式を見ることが出来ます。半日ほど時間があれば充分楽しむ事ができます。(写真2)

② 旧市街の街歩き

旧市街のアップダウンをスタートし、様々なレストランやお店を見ながら歩いていると、丘の上に大きなシャトー風のホテル「フエアモントル」が見えます。このフランスの古城風の建物は1893年にCP鉄

道によって建てられた豪華なホテルです。ホテルのバルコニーからセントローレンス川を見下ろしながら飲むビールは最高です。(写真3)

ホテルから急斜面を降りていくと、そこは北米で最も古い繁華街ブチ・シャンプラン地区です。金のコショウ・ダンクで夕食をとりました。(写真4、5) 豚のトリードマークに誘われてポークチョップ(豚の骨付きあばら肉)をオーダーしましたが、これは失敗。やはり北米の甘いBBQソースは日本人には合いません。やはりガイドブックおすすめのステーキにしておけば良かったと反省しました。

ケベックは海外への観光旅行先としては優先順位が低いとは思いますが、料理はおいしいです。また大変美しい場所です。ぜひトライしてみてください。

③ ホテルシャトーフロントナック

ホテルシャトーフロントナックでディナー

